

## 第5回横芝光町産直交流施設基本計画検討委員会 議事録

日 時：平成28年11月28日（月）午後1時30分

場 所：ふれあい坂田池公園管理センター会議室

事務局：産業振興課

コンサルタント会社：(株)オオバ

外部アドバイザー：(株)ちばぎん総合研究所

### 1. 開会

代理出席（大木良夫委員代理：横芝光町企画財政課越川主幹）報告

欠 席（森川忠委員・伊藤春生委員・川島富士子委員）報告

### 2. 委員長あいさつ

委員長：

第5回の委員会にお集まり頂きありがとうございます。さて、今回の委員会に向け副委員長及び執行部と細かい打合せをしてきました。その中で冒頭8分程度時間を頂きまして、本日の委員会に臨む姿勢を私の方からお話させて頂きます。ご理解の程よろしくお願いいたします。まず、本委員会は正副委員長の方針で、ホームページや議事録の公開、そして委員会資料の事前配付、また、進捗状況を多くの皆様に周知をして頂きたいということでやって参りました。しかしながら、未だ産直施設の進捗状況は、町民の皆様へ行き渡っていないのが現状です。ですから委員の皆様には、産直交流施設の進捗状況について情報発信をして頂きたい。今後も横芝光町の地域活性化の拠点として多くの町民の皆様にご理解をいただくよう、心を一つにしてまとめて頂ければ有り難いです。ここに、本日の検討委員会の資料、次回基本計画の概要版があります。いよいよ最終局面を迎えております。今日の資料は執行部と委託業者の方々に訂正に訂正を重ねた、より分かり易い図面、資料を作成して頂きました。そして、今日は施設計画地であるふれあい坂田池公園での委員会開催となりました。まず、この会議室で30分程度、今日の検討内容について説明をいただき、その後現地に行きます。現地には施設配置場所をロープで張って示しております。「実際にここが駐車場になる場所。施設を配置する場所」という様な形となっておりますので、確認していただきたいと思います。なお、執行部及び委託業者におかれましては、現地での私どもの質問に対しまして、一人だけでなく誰もが質問に答えられる様、難しい注文ではございますが対応をお願いいたします。次に第2点目ですが、施設利用のキーポイントである施

設ゾーンと遊び場ゾーンをA案B案で検討して参りました。その後、話をする中で執行部と現地確認をしながらどこが一番望ましいかということを見てきました。その結果、まず遊び場ゾーン、こちらについては西側、要するにグラウンド・ゴルフを行う芝生と一体が最良だろうと考えました。それにより、例えば大きなイベントを芝生広場で集客し開催することや、子供達が遊び場ゾーンを利用し、高齢者がグラウンド・ゴルフをやることも可能になります。販売施設については東側に配置するという事になります。そして、図の右下に描いてある体験ゾーンについて多くの意見がでましたので、体験ゾーンを設置しました。それと遊具については、皆様から色々なご意見をいただきました。例えばザイルクライミングを特化した方が良いという意見。また、予算の枠の中で先進した施設の遊具を取り入れるのはどうかといった意見。たまたま現地視察をしている時に小学校1年生、2年生がおりまして、そこで子供達に聞きました。すると色々な意見が出ました。そういった具合に子供達のアンケートも取り入れながらの形が良いのではないかと思います。先ほど申し上げました体験ゾーンにつきましては、計画地に坂田池、坂田城跡、そして近くには栗山川があります。この産直交流施設は、ここ的一部分に特化するものではなく、民有地を入れず、坂田池公園、坂田城跡 栗山川も一帯に踏まえた東京ドームの10倍20倍というエリアの中で考えるという様な形を取りたいということで体験ゾーンを盛り込んでおります。第3点目、駐車場の配置でございますが、色々と交通安全の問題がありました。そこで当然ながら交通安全基準を満たした交通計画、生徒の安心安全を確保した配置ということで計画しております。しかし、その中で、生徒の登下校等に対する安全対策が懸念されているということで、関係小中学校への説明会を実施したとの報告を受けております。各小中学校で開催した説明会の内容が本日の資料にございますが、厳しい意見も寄せられております。また、PTA役員からの厳しい意見もフェイスブックに投稿されておりました。私なりにPTA役員、子供達に色々な意見を聞く中で、直接話を承った結果なのですが、産直交流施設の建設計画自体が「ここでやることも知らない。何も聞いていない。たまたま話を聞いた。子供が危ないではないか」という話でした。そこで町との情報共有ができていないことが分かりました。執行部を責めるわけではないが、欠落していた部分もあったかと思えます。そういったことで内容をご理解頂き、今後の施設進捗状況に大きな影響を与える交通計画も一步一步進んで行くということでもあります。そうすれば子供達にも安心安全な新たな施設、施設ができれば当然ながら色々な意見が突出してきます。都会では、「保育園は地域の住民がうるさいから建設は駄目だ」と

いう所もあります。そういった所を先ほど申し上げました通り、執行部、そして委員の皆様におかれましては、情報共有及び進捗状況の情報発信により最大の努力をすることが一番理想ではないかと私自身思っております。その結果が、この先素晴らしい風景のもとで地域活性化の拠点施設誕生に向け、横芝光町の将来を担う児童、生徒、そして保護者からの「坂田池 梅の里」への応援メッセージが届けば、非常に有難いことだと我々一同考えるものであります。第4点目、産直交流施設の方向でございます。当初から道の駅登録を目指すのか否かという問題です。道の駅につきましては、私が当初2回目の委員会で近隣の道の駅の状況、登録と効果等を皆様にお示しさせて頂きました。道の駅登録は非常にメリットが大きいです。先般行われました議会の研修会で道の駅「安曇野」を視察したそうです。非常に良い道の駅の内容だと報告を受けております。本委員会において、次回が計画策定となりますが、今回委員会の中で結論付けるのか、それとも来年度からの実施計画において、補助金獲得の中で本委員会は道の駅を視野に入れての産直交流施設としていくのか、それとも当初から道の駅「安曇野」のような道の駅でいくのか、皆様から様々なご意見を頂けたらと思います。町活性化を目指した「坂田池 梅の里」プラン。委員各位の心を一つにした思いがこれからの実現に向けて進捗していくのではないかと思います。私も皆様と一緒にこの委員会の代表として、熱い想いを胸に町活性化に寄与したいという考えです。以上長くなりましたが、挨拶と代えさせて頂きます。

### 3. 報告

#### 事務局：

議事に入る前に事務局よりご報告がございます。産直交流施設基本計画策定業務について、現在ふれあい坂田池公園内に計画中の産直交流施設が横芝中学校と隣接することから、前回の委員会の後、11月7日に横芝小学校、11月8日に上堺小学校、11月14日に大総小学校において生徒たちの交通安全確保のための基本計画（案）における交通計画（案）について説明会を行いました。別添資料にも添付させていただいてありますが、各小学校教員からの意見といたしましては、交通量が増えるので生徒の登下校の安全確保や学校周辺の道路整備などについての意見が多くありました。なお、横芝中学校につきましては、前回第4回の検討委員会で交通計画（案）について検討する前の説明会でありましたので、第4回と今回の第5回でまとめた交通計画の安全対策の検討結果資料を基に再度説明会を行う予定であります。

#### 4. 議事

- (1) 基本計画策定スケジュール
- (2) 土地利用（施設配置）計画
- (3) 横芝光町産直交流施設基本計画（案）
  - (1) ～ (3) 事務局による資料説明

#### —現地確認—

#### (4) 意見交換

##### 委員長：

議事を再開させていただきます。先ほど申しましたように、今までA案、B案と色々な検討を重ねた結果が先ほど現地でご覧頂いた案ということです。それでは全員からご意見を頂戴してまとめたいと思います。委員からよろしく願いいたします。

##### 委員：

先ほど現場で大体の大きさを見てきた中で、施設への質問とお考えを伺いたい。施設①が約90坪だと思いますが、ここで情報発信コーナーと販売スペースを設け、かつ加工所までやるとなると、おそらく加工所は最低限これ位必要という中で販売スペースは足りるのかと思いました。将来的には当然コンテナなので移動できると思いますが、「後で施設が足りない」というような予想以上の集客となった時には、横か上に延ばす予定はありますか。

##### 委員長：

検討委員会資料の19頁の右下、この辺が加工所、物産販売所及び情報コーナーが一つになった間取りです。

##### 事務局：

最近旭市に「農家の家 せんのや」という販売所ができました。それとほぼ同等のスペースであります。「せんのや」の品揃えが野菜、惣菜と色々ありますが、結構お客さんが入っているということでもあります。当面の間は収支が損得なしになるような形で、それだけの集客が見込めれば有り難いと思っております。施設の増設ですが、横につなげるスペースは厳しいので、上に足すような構造に最初からできるのかということが、今後の検討課題の一つになるかと思っております。当面ビジネスに関しては小さく始めるという方針で考えたいと思っております。

**委員：**

道の駅とは言いませんが、販売所の様なスペースとして見た場合、平均的な大体の売場面積はどの位ですか。もう少しコンパクトなイメージにしたい。

**事務局：**

一般的な販売スペースは、第2回目の委員会で290㎡と示させて頂きました。それよりも小さくコンビニ程度の大きさとイメージしています。

**委員：**

わかりました。

**委員：**

先ほど現場を拝見しまして、やはり現地を見ながらの方がよく分かった様な感じがしました。確かにイベント広場に向かって左側の景観は良いのですが、やはり右側に施設を寄せないとどうしても中学校の出入口の関係から、このようなスペースの配置になったのかと考えられる訳ですが、これはこれで仕方無いのかなと思います。ただ駐車場のスペースが現状だと高台に見えますし、それをある程度削らないとイベント広場のスペースが埋まってしまう様な感じも受けますので、そういった所は考えなければならないと思います。それと合わせて、今回の建設予定地については「坂田池 梅の里」ということで、坂田梅林に上がって行くにしても近くなる訳で、条件的にはこちらの方が、春先、観光に見えた方には距離感からするとこちらの方が良いのではないかという感じも受けました。あと1点、産直交流施設にするのか、或いは道の駅でスタートするのかを考えている様ですが、芝山町の「風和里」や東金市の「みのりの郷」の話をお聞きすると、やはり道の駅で登録した方が色々な面で集客が増えてきているということをお聞きしますので、その辺を考えた時に、どうしても産直交流施設でない駄目ということであれば仕方ありませんが、私としては道の駅で当初から考えるべきではないかと思えます。

**委員長：**

ありがとうございます。執行部の意見を伺いますか。

**委員：**

いいです。

**委員：**

委員と同様、確かにロケーション的には施設と遊具ゾーンを逆にした方が良いかと思いましたが、全体として坂田城跡との関連とか、今白紙ではありますが、ゆくゆく民有地を購入した後のことを考えた場合、やはり今のこの案の方が拡張性やバス等の交通のことを考えると、この案の方が良いのではないかと思いました。それと道の駅ということですが、私も基本的には、道の駅でスタートした方が宣伝効果もあり、集客が見込めると思われますので、道の駅を目指して進めていくべきだと思います。

**委員：**

私も今回初めて現地を拝見しまして、大体の意見は前の方と同じなのですが、配置的にも本日提案された施設配置の方が良いのではないかと思います。なお、駐車場につきましては、現況の駐車場よりだいぶ大きくなりますが、これだけのスペースが必要なのかと思いました。それと現在の駐車場の外から中学校の正門を眺めましたら、想像よりも狭いと感じました。狭いというか大総新道までの距離が無くて、これでは中学校の先生方も不安視することが分かる気がしました。駐車場のスペースと、あとは将来的な展望と伺いましたが、民有地の一部を至急に譲ってもらい、大総新道に出入口を持って行った方が後々良いのではないかと思います。民有地のことは分かりませんが、民有地を一部買収し、大総新道から直接入った方が良い感じでした。

**委員：**

先ほど、静かで良い所だなと思いながら、他の施設も拝見しました。そこで収支の問題もあるので、レストランの売上で気になったのが、レストランのサイズが少し小さいと思います。大きくした方が良いという意味ではなく、あのサイズにテーブルが20何席というのは内容として無理がある。あそこで7000万売り上げなくてはならないとなると、例えば客単価800円だと240日かかる。それも昼の営業だけだと、「どれ位の物をどれ位のピッチで売らなければならないか」ということをしっかり試算した方が良いと思います。やはり収益の中で色々なコストを25年間で払っていくという数字を出されているのであれば、しっかりとした経営感覚を持たれた方が良いのではないかと思いました。それを逆算して「サイズはどうなのか。コストはどうなのか」としっかり考えた方が良いと思います。もちろん安全面も一番大事ではありますが、そういう感覚をもう少し持たれた方が良い感じでした。

**委員長：**

コストの試算ということで次回までをお願いします。

**委員：**

レストランの前にバーベキューという構想がある様ですが、そこまで考えなくても良いのではないかと思います。バーベキューとなりますとゴミの問題や駐車場スペース等関係してきますので、それならば、前の方がおっしゃったようにレストランを増設した方が良いのではないかと思います。それと遊具ゾーンにレストランを置くのは良いと思いますが、今は冬枯れの一番何もない時期ですから、春先になるとレストランを配置した所の近く、要するに大総新道側ではなく、県道に面した方に桜が多いということもありますので、その季節で色々な景観がありますが、あの場所に1箇所寄ってれば後々の計画もしやすいのではないかと思います。

**委員長：**

今の意見ですが、委員の意見にもありました。19頁の右側、施設の前の部分に<sup>ひきし</sup>庇が入っているのか否かということもあるかと思われませんが、執行部いかがですか。今示しているレストランの大きさの中に、庇やデッキ等の配置はあるのですか。

**事務局：**

建物自体はロープで囲ったものが寸法となります。それで道から少し離れた位置に地縄を張ってあったと思いますが、通路は6m確保してありました。その6m通路と地縄を張った所の間がそのオープンスペースなどになるということをご理解いただければと思います。

**委員長：**

19頁の右側にあります。このレストランの<sup>ひきし</sup>庇というか軒先が現地の地縄には入っていないということによろしいでしょうか。

**事務局：**

そうです。

**委員長：**

今の回答はもっと広くなるということです。ただ、コストの適正な算出はお願いしたいと思います。

**委員：**

もう一つ、エントランス先のメインの建物を残すというお話がありました。あそこをもう少し良い利用が出来ないかと思います。補修も必要だと思えますが、簡単に言えば屋根の部分がもう少し広ければ、休憩スペースも取れるでしょうし、メインであって立派ではありますが、イベント広場としての活用がどれだけあるかも分からないので、両方に使える何かもう少し柔軟性を持たせたものにできないかと思います。

**委員長：**

執行部から特に回答は必要ですか。

**委員：**

いいえ、考えていただければと思います。

**委員長：**

分かりました。

**委員：**

私も今日初めて見ましたが、思ったより中学校と隣接していることが分かりました。やはり、交通対策が最重要な問題だと痛感しました。それとキッズルームが小さいというか、必要性がどの位あるか分かりませんが、オオバさんから遊具ゾーンへ移動も可能だということを伺いまして、とても良い事だと思いました。「お兄ちゃんは遊具ゾーンで、弟は幼児用ゾーンで」ということになると親が大変なのではないかと思います。また、遊具ゾーンの前に高いオブジェがありますが、意味はあるのでしょうかけれども、あれは必要ないのではと思います。そうすればもっと芝生広場が広く使えて良いのではと個人的に思いました。あと、先ほども出ました民有地を早く取得できれば良いと思います。

**委員長：**

オブジェはありましたか。

**委員：**

高いのがあった気がします。

**事務局：**

オブジェは公園を造ったときの記念モニュメントで撤去は難しいかと思われま

**委員：**

周りの高さも段差も気になるし、お年寄りには危ないと思います。

**アドバイザー：**

現地を視察させて頂きましたので、感想を何点か申し上げます。まず駐車場に関しては、施設側の駐車場が大分せり出していて、少し広すぎるのではないかと個人的な印象として感じました。稼働率ですとか、収益を考えたの駐車場台数確保ということで、この大きさになっているのだと思いますが、当然平日と休日の利用率というのがどこの道の駅に行っても違います。休日は当然満車になる造りにしていても、平日はかなり空くというのが予想されます。この交流施設の売りというのが、坂田池公園全体の中にこの施設があるという位置付けだと思

うので、例えば休日にここの駐車場が満車で、「少し離れた所に行ってください」と言っても、その公園の中に駐車場があれば、そこを歩くことも施設へ行くために歩くことも気持ち良い散策にもなりますし、池を見ながら歩くという行為にもつながります。例えば公園管理センターにも駐車場がございますので、休日満車の場合にはそちらを第2駐車場ですとか第3駐車場といった形で使ってもらえれば、十分に対応できると思います。それから、レストランについてもご意見がありましたが、私も席数、これだけ入るのかという印象を持ちました。それと、この形が横長ばかりなので、委託業者さんとも話しましたがL字の様な形にして、少し拡張性を持たせてお洒落な感じにし、坂田池が一番見えるような客席の形にしてみてもとか、この施設にとって見晴らしの良い池を見ながら食事をするというのはメインの様なものですし、ここは横芝光町の色々な食を味わえるという集客の要になる所だと思いますので、その景観は少しこだわった方が良いのではないかと思います。一方でキッズルームに関しては、ここは正直それほど景色が良くなくても、お母さんが子供を遊ばせられる場所であったり、おむつを替えたりというスペースですので、この一番一等地の場所には勿体無いという気はします。遊具の方に移すというのも一つの案だと思いますし、こちら側にあったとしても、もう少し駐車場側に寄せても良いという気はしま

す。また、意見がありましたイベント広場に関しまして、ここはイベント広場という名前とは結びつかない位、イベントのしようがない造りだと感じました。ステージ的な形が無いと、例えば子供達の発表会だとかダンスだとか、今子供達が発表する場所として使っている道の駅が多いのですが、そういうステージ的な部分を整備しないと、今の感じでは使える様で何も使えないという形になってしまいますので、ベンチの向きもそうですし、屋根もそうですが、そこは少しお金を掛けてでも整備しないといけないのではないかと思います。今スペース確保に皆さんがこれだけ頭を悩ませているのに、ここで相当時間を費やしているのに、逆に使えない場所になってしまうのは非常に勿体無い気がしますので、ここは是非検討して頂きたいと思います。

#### **委員長：**

ありがとうございます。私もイベント広場についてはあのままでいいのかと危惧しておりました。今のままだと「魅力が無い、何も無い」ということになってしまいます。

#### **委員代理：**

私も駐車場が意外と広く取っているという印象を受けました。せつかくの芝生広場の広さを潰すというか、狭まるという印象を受けました。事業をやる上で駐車場はある程度大きく取って欲しい所も公園の中にあるので、その辺の兼ね合いを多いのか少ないのかというのは検討して頂きたい。また資料の中で、18頁にコンテナが9台で270㎡というのと、図面の方だと従来の300㎡となっているのですが、どちらでしょうか。1台分30㎡違うのでどちらが正しいのでしょうか。23頁の売上の関係で、来客数と客単価の試算がされていますが、売場面積から持ってくるという方法もあつたりするので、片方だけではなく二重での試算をしてみたらどうかと思いました。運営というのは土地利用と施設整備の関係以上に計画というのが大切になってくるので、今後詰めていかれると思いますが、その辺はしっかりとした方が良いかと思います。学校関係の安全対策については、意見を拝見すると通学路全体に対する要望が大きいので、都市建設課と協議した上で調整し、今後詰めて頂ければと思います。

#### **事務局：**

施設①の270㎡ということで、これは施設③の情報発信コーナー30㎡と併設していますので、これをプラスして300㎡ということになります。

よろしいでしょうか。

**委員長：**

試算ですが、これを見ますと農産物直売所は日50万。郷土レストランは日20万の計算にしているかと思います。これについては、また㎡単価にしてみてもどうかということでした。

**委員：**

今の続きで、㎡単価とありましたが、㎡数よりも「農産物がどの位集まるのか。レストランで何を出すのか」それがはっきり見えていないのに、この数字は無謀だなと前回から感じました。実際5億円という数字ですが、コンパクトにするという形で最初の約9億、10億から5億円になった数字です。だから半分になって、少なくなった気がしている様ですが、5億円というのはとてつもない金額だと思いますし、これが果たしてコンパクトなのかと疑問に思います。農家の立場として農産物直売所ですが、実際農家が全く盛り上がっていないのに野菜がどれだけ集まるのか。1日50万売り上げるというのは非常に大変なことで、この金額で25年掛かる訳で、25年の間にはエアコンが壊れたり、他の部分でも色々修繕費が掛かってくると思います。ですから、「どこに何を置くかよりも、この運営が5億円で良いのか」、そちらを先に考えた方が良いと思います。こうしたお金を使うのに、委員としてすごく責任のある立場だと思うのです。この公園の計画を立てるのは楽しいですし、未来の夢があっていいなと思っています。坂田池公園が好きですし、あそこが綺麗になれば良いと本当に思っています。ただ、そこに5億円を掛けて、果たしてこの試算通りいくのかどうかというのが一番心配です。実際この企画をもう1回白紙に近い状態に戻した方が良いのではないかと私は思います。

**委員長：**

試算のことでよろしいですか。

**委員：**

基本的にそうです。

**委員長：**

実施計画の中で出てくるとはと思いますが、試算の見直しということでお願いします。

**委員：**

まず1点目が先ほどから駐車場の意見が出ておりますが、元々の来客数を見込む時に公園の利用者をカウントしていたかと思いますが、だとすると公園の利用者をカウントするのであれば、ここで全ての駐車台数をまかなう必要はないのかという部分では、前回も申し上げましたが、もう少し小さくても良いのではないかと思います。それと先ほどの現地視察で一番感じたのは、レストランの配置がもったいない位置だということ。先ほどの意見でもあった様に、キッズルームを含めた幼児ゾーンとレストランゾーンを交換しても良いのかなと思いました。現地で縄を張ってくれたのを見ると、この中では動線上の通路が植え込みに掛からずに描かれていますが、現地では動線上の通路を跨いでレストランが敷地に掛かっていて図面と現地が合っていない。私も基本的には西側の遊具ゾーンに持って行きたいのですが、全体としてこちらの方が良いだろうというお話なので、キッズゾーンとレストランゾーンの配置を換えて、もう少しロケーションの良い所にした方がレストランとしては良いかと思えます。これは、このエリアの中での配置を再検討して頂いた方が良いかという意見です。経費の問題ですが、収入の方は先ほどから何度も出ているので再検討して頂くとして、支出である維持管理費については、外構は公園管理とのことですが、実際には駐車場、遊具、園路といった中で、本当に外構は公園の管理費で良いのかという部分。例えば、今の駅前広場は管理だけで約800万掛かっています。植え込みの剪定も木を替えて1年間隔でやって、それで概ね800万近く掛かっている。そういう事を考えると、例えばトイレがとても綺麗だというのがこれからの売りになると思いますが、トイレの清掃だけとはいえ相当な経費が掛かってくるということを考えると、支出の面でも試算が甘いのではないかという感覚は受けています。歳入の方は先ほど委員からもお話があったようにもう一度よく見直して頂いて、適切な収入を見込んだ中で規模を決めて頂ければと思います。

**委員長：**

今の一番大きな点は、キッズルームとレストランを取り換えた方が良いのではないかという意見でございます。ロケーションを考慮し、再検討していきたいと思えます。支出、収入の試算についてはもう一度検討するというところでよろしいでしょうか。

**委員：**

現場から見たイメージで、大総新道の北の方から見ると、ちょうどこの配置が良く見えて私は良いと思っております。やはり道路から施設が見えると

いうことは、入ってみようという気持ちになろうかと思います。駐車場の件は、今皆さんが言われた通り少し施設に対して広いかなと思っていたのですが、公園を利用する人も含めてということになると、それも然りということでしょう。それから、どうしてもこういう施設を造れば、集客がどんどん増えていかなければどうにもならない訳で、今の状況でいくと道路がこの様な状況で、これでどの位の期待ができるかという所で、まだ県道も開通していない。まずはそちらの方もかなり力を入れていかないと、「公園ができたが道路がいつできるか分かりません」では、とんでもない問題になってしまう。これを造るということになれば、道路開通に力をいれなければならない。私も観光会社やバス会社に知人がおまして、その時々聞いてみるのですが、今の状況でコースを組むのに、「もし施設ができて、緊急の場合は入れますけど、ほとんど入れませんよ」とのお話をいただいております。「特殊な品物や何か目玉でもあれば別ですけど」という話でありました。梅の時期、桜の時期は確かにいい場所です。その時期にはコースに入れてもらっても良いと思いますが、まずこの施設を造る時に道路のことも良く考えて、これから進むべきではないかと思っております。

**委員長：**

県道横芝下総線でしょうか。

**委員：**

そのバイパスと大総新道。これが今ネックです。

**委員長：**

それと合わせてということで進捗を町当局として、全体で考えて欲しいということよろしいでしょうか。

**委員：**

今お話があったように、梅祭りの時が大量に人が来るし、車も来ると思います。梅に関して、「梅の里」というコンセプトの表現が弱いかなと思います。梅祭りに来た時に、例えば梅がこちらの方にも植えてあるとか、梅を見ながらレストランで食事ができるといった余韻をこちらでも感じられる様な、ちょっとした工夫があれば良いかと思います。もちろん特産品で売られると思いますが、そういった雰囲気作りも大事かと思っております。

**委員長：**

観光協会が梅の里事業部ができるそうです。観光協会と連携でよろしくお願ひします。

**委員：**

皆さんから色々な意見が出ていますが、全体でこの坂田城跡と公園の周辺のスポーツ施設、そういう所との抱き合わせの中で産直交流施設があるという位置付けで事業を進めていった方が良いかと思ひます。やはり一つ気になったのは、イベント広場をどういうふうに使っていくのか、せつかく真ん中にあるのに今の状態では利用価値がないように思えるので修繕を加え、これを梅の里のイベントに使うという意見もありではないかと思ひます。それから、やはりレストランの位置がここで良いのかということ。長方形に置けていますが、置き方を変えるなどして、坂田城跡との連携が来たお客さんにも分かる様な仕掛けを作っておいた方が良いと思ひます。それと資金面ですが、今後のお金の出入り、それから25年掛けて償還していく辺りのご心配もありましたが、これだけだと粗々しいので、もう少し細かい積み上げと、今後例えば10年ごとに中規模修繕を行うとか、15年で大規模修繕を行うとか、そういうものを入れ込んで全体のフローを出して頂けると分かり易くて良いかと思ひます。

**委員長：**

イベント広場の問題はアドバイザーからもお話がありましたが、「あのままで良いのか」、「もっと梅の里に特化した方が良いのではないか」というお話でした。資金面に関しまして、当然ながら町単独予算でできる訳はございませんから、それについては企画財政課長とお話をして企画財政課としても補助金の獲得等あると思ひます。収益についても、収入、支出の再試算を行っていかなくてはならないと思ひます。

**委員：**

皆さんから意見も出ていますので、特に一番私が気になったのは、5億円の出所だと思ひます。これは補助事業を使って半分になれば運営も変わってくると思ひますし、事業化予算があまりにも安易な計算式になっていますので、例えば5億円を自己資金でやった場合、借金すれば年間2%の利息であっても1000万から利息の支払いが発生する訳ですので、その辺の予算的なものを明確にしていかなくてはならないと思ひます。先ほど現地を歩いていても話が出たのですが、「建物を造りました、誰が入ってくれますか」と

いう順番になってしまうと、なかなか集まり辛いのではないかという気がしたので、その辺だけが一番心配です。

#### **委員長：**

これから実施計画に入っていかなければなりません、その前に資金繰りの問題、色々な補助金があると思います。当然ながら農水省予算、国交省予算、内閣府予算、様々な資金の獲得というのは役場職員である執行部に与えられた試練かと思えます。試算についても同様かと思えます。我々としては基本計画検討委員会ということで、そこまで深く踏み入れませんので、その点を踏まえて言えば、執行部に頑張って頂ければと思います。

#### **副委員長：**

委員長の挨拶の中で、土地利用の施設配置の決定をお願いしたいというテーマでありましたが、皆さんに現地を見て頂きまして、その中でも色々なご意見がありました。ここですぐに決めるという訳には当然いきませんので、皆様のご意見を参考にしながら再度検討して、皆さんの前にご提示していく様に考えております。その中で皆さんがご心配になっている点が2、3点あると思います。まず中学校の通学路の問題。これは都市建設課の課長がいらっしやいますけれども、こういうふうになるのではないかという構想を示して頂くことが出来れば一番良いのではないかと思うのですが、無理であればそれは結構です。ただ、先ほど委員の中から大総新道から国道までの早期開通といった事業の進捗についての心配がございましたので、その辺の所も県との協議の中で、一步でも二歩でも前進するような形をお願い出来ればと思っております。事業に対する試算の面が甘いのではないかというご指摘がありました。これももう少し具体的に皆さんの前にご提示頂かないと、納得して頂けない部分が多いのではないかと思いました。これについても我々としては皆さんにご提示したいと考えております。施設の中の配置の問題が何点か出ておりますが、皆さんが言われていることは、例えばレストランの件ですと、目立たないというか今のロケーションそのものを壮大に見られる場所にとということだと思うので、そういうことも考慮しながら、まずキッズルームの件もございしますが、この位置でなければならぬということではないと思っておりますので、更に検討していきたいと思っております。皆さんに再びお集まり頂くのは来年の1月27日ですので、その前に、皆さんのご意見の中から考えた案をお示し、皆さんの意見を再度いただき、最終的な会議を行った方が良いかと思っておりますので、その点も含めてよろしくお願ひいたします。

**委員長：**

他に何かご意見ありますか。副委員長からありましたが、次回がいよいよ最終章でございます。その前に皆さんからの意見をまとめて出したいとのことです。ここに質疑票が入っております。その中でまとめて今出された計画の修正事項や提起、懸案事項についてある程度書いて頂きたいと思います。そして1月27日を迎えるということですのでよろしいでしょうか。冒頭から色々な話をしましたが、心を一つにという合言葉で町活性化につなげていけたらと考えていますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。以上で議長を終わらせていただきます。ありがとうございました。

**閉会 午後3時20分**

**【配付資料】**

- ・ 次第
- ・ 基本計画策定スケジュール（資料-1）
- ・ 土地利用（施設配置）計画（資料-2）
- ・ 基本計画（案）（資料-3）
- ・ 土地利用計画図（案）
- ・ 基本計画（案）概要版 16.11.28案
- ・ 第4回検討委員会\_意見と対応（参考-1）
- ・ 土地利用計画図（案）現地寸法図
- ・ 報告事項